

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1682回例会

令和3年9月30日(18:30～19:30)



○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（清作先生、本日は卓話ありがとうございました。今後も西クラブの重鎮として宜しく御指導願います。また、今日私の会社で会社設立以来最高額の設計を総合評価入札で落札する事が出来ましたのでスマイル致します。）
- 須藤正樹幹事（佐藤清作様卓話ありがとうございました。前回休みをもらいましてありがとうございます。今週からまたがんばります。）
- 青木大会員（先日、東邦銀行のコンペで1回目のホールインワンをしました。バーディも2つ有り、思い出に残る1日になりました。よって記念コンペを居川先生ご指導の元、11/21に行いますので、ご参加下さい。）
- 中目公英会員（佐藤清作先生、卓話ありがとうございました。先生には、今後共々が白河西RCの進むべき道筋を照らし、お導きいただきたく、お願い申し上げます。）
- 関谷亮一会員（大先輩佐藤清作先生の卓話ありがとうございました。大型の台風16号が東の海を通過する様です。被害がない事を祈ります。）
- 矢田部錦四郎会員（久しぶりに例会に出席しましたのでスマイルします。佐藤清作会員卓話ありがとうございました。）
- 佐藤清作会員（卓話をさせていただきました。）
- 居川孝男会員（佐藤先生卓話ありがとうございました。お身体を大切にこれからもご指導よろしくお願ひします。青木さんホールインワンおめでとうございます。記念コンペ楽しみにしています。）
- 金田昇会員（佐藤清作パスト会長、卓話ありがとうございました。）
- 佐藤幸彦会員（この度、会社名を変更しました。㈱佐藤春洋商店から株式会社ハルミとなりました。今後とも、宜しくお願いします。）
- 山口治会員（佐藤清作パスト会長、卓話お疲れ様でした。）

▶第1682回例会出席状況 (R3年9月30日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	29名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	62
Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	64.5%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。2週間ぶりの例会で本日もお忙しい中、皆さんご参加いただきまして誠にありがとうございます。今回の例会は9月最後の例会であります。皆さんもご存じであります

すとおりの、明日から全国一斉に緊急事態宣言が解除になります。旅行や夜のお酒など自由にできて嬉しい反面、コロナの感染リスクが高まることを考えると心配な点も多いかと思います。自由に行動できるということは、コロナの感染対策は今後個人にゆだねられるということで、今後一層今まで以上に感染対策を徹底した個人個人の行動が求められていくんだと思っています。厚生労働省のデータでいいますと、ワクチンを接種した人は接種していない人に比べて17分の1の感染確率だそうです。ですが、感染確率は必ずしもゼロにはならず残るものですので、決して油断はできない状況であることは今後も続くことだと思っています。今後共、我々ロータリアンはロータリアンとして地域のリーダーたる自覚を持って、会社や家族そして周りの人々に迷惑をかけないよう感染には最善の注意を払って、秩序ある行動をしていかなければいけないと思っています。さて話は変わりますが、最近ちょっとこういった中で心を和む嬉しい話があったので2つばかり紹介したいと思います。まず一つに、おとといの新聞で皆さんもご覧になったと思いますけども、白河のご当地ヒーローのダルライザーが、ユーチューブ動画に出演して「安近しらかわ」と題して、この白河の地を都内のほうに宣伝しているという記事が掲載されたことであります。安近の安というのは、土地が安いという安ですね。近いというのは、本当に都内から近いという意味らしいです。ユーチューブで「安近しらかわ」と検索すると出てくるので、皆さんも是非ご覧になっていただきたいと思います。結構内容的にダルライザーやダイスが出て来て面白いです。簡単に内容をかいつまんで言いますと、白河から70分で行けるとそこで謳っています。多分、この70分というのは日に数本出てる通勤快速の時間だと思いますね、それで近いと。安いということは、庭付き一戸建て住宅、この白河そして西郷地区では多分二千万円台で手に入ということで、安いということを経南地方振興局がベースになってPRしているようであります。実際、私も神奈川の海老名に住む友人が3年ぐらい前から、僕は定

年になったら白河に住むんだ。白河に移住計画立てているんだというような話を具体的に言っています。多分、この地域の良さというのは我々住んでいる人間じゃなくて、案外都会というか中央の人のほうがよっぽど理解しているのかなと思った次第であります。ちなみに、土地が安いということでちょっと極端な例なんですけど、やはり私の西荻窪の友人がいるんですが、西荻窪の駅の北口に結構広い土地があって、そこにテナントビルを建てて家賃収入だけで食べていけちゃうみたいなお金持ちの人がいるんですが、その人に実は井の頭通り沿いに70坪の空き地があるので、その土地を買って建物を建てたらどのぐらいの金額になってどんなふうな返済になるか相談されたんですね。ちょっと計画しまして、70坪で大体、地下1階地上4階RCで建設すると、なんと土地が70坪で幾らだと思いますか。2億です。70坪で2億。建物がやっぱり4階建てRCで、ぎっちり建ぺい率容積率ぎりぎり建てますので1億8千万円くらい。トータルで3億8千万円。3億8千万を、一部ガレージ、一部自分の住居。一部が賃貸マンションとして貸す予定ですけども、その収支をとっても全然採算が合わないということで、この計画は見事に土地代が高くて頓挫してしまったというふうなことがあります。本当にそれに比べたら、この白河、西郷、土地がただみたいとは言いませんが、本当に魅力ある価格のようになっている思えるみたいです。その時に、冗談半分で白河の土地なんか物凄く安いよ。坪15万くらいから全然あるよみたいな話を西郷の場合ですけどね、言ったんですけども。先日、ちょっとメールが来まして実はあれから白河の土地を物色してるんだと。何かいいとこないかみたいな話があったので、本当に結構私の友人が少ないですけどその二人が共に白河の良さを感じてくれたということは、そんなふうな人がどんどん増えたら、第2のみさかニュータウンじゃないですけども、町が一層人が入ってきて活性化して凄く明るい可能性を感じたので、皆さんにご紹介させていただきました。それと二つ目ですね。それもこの地域のニュースなんですけども、皆さん知ってますか。私は初めて聞いたんですけど、自治体四季報。四季報という字は、株の四季報ですね。この分厚い本。それと同じ名前で自治体の四季報というのがサイトであるんだそうです。そこは何してるかという総務省が公開したデータを解析して、毎年自治体の経営力ランキングというのを作ってるんですね。そういうものを公開してるサイトです。どういったものかといいますと、住人の持続可能な幸福を実現する力。つまり、自治体の経営力を見える化したランキングなんだそうです。

今年、1741の自治体でさて皆さんどこがナンバーワンになりましたか。はい、そうです、西郷村です。西郷村が1741の全国の自治体でナンバーワンになりました。これは物凄い快挙でありまして、ちなみに2位は九州の鳥栖市。鳥栖市は福岡市と久留米市のその都会に挟まれた市ですね。3位が千葉の印西市ですね。ということになっています。この地域はどういった指標で出しているのかといいますと、参考までにまずは人口の増減率。あと、地方税収の増減率。それと、人口一人当たりの地方税収。それと、財政調整基金増減率というのがありまして、それは自治体でいえば貯金みたいなもので、会社でいえば内部留保みたいなものだと言いました。それと、人口一人当たりの町職員、村職員の人件費ですね。そういったものを点数化して総合的に評価してるらしいです。ちなみに、指標の一つの住民の生活の豊かさを示す人口一人当たりの地方税収というのは非常に気になったので調べてみたんですけども、西郷村は1741自治体の中で109位です。かなり上のランクですね。21万円だということですね。ちなみに、1位は北海道の泊村という所で137万円。何と、西郷村の6倍の金額の税収がある。これは为什么呢かという、原発なんですね。原発の固定資産税からの収入だということです。ちなみに、2位は群馬県の上野村という所で、そこは123万円。巨大な地下揚水発電所というのがありまして、その固定資産税の収入らしいです。地下揚水発電所というのは、原発とペアで考えてく施設らしいですね。原子力発電所が24時間発電を続けて昼間の電力を供給して、夜の余剰電力を今度その揚水発電所のほうに送って、そこで高低差600メートルの下の方から上の方まで一気に水を汲み上げるそうです。夏季のピーク時ないしは、その利用時にその600メートルの高低差を利用して水を流して二百何十万kWとかいう発電をするらしいです。その発電所の固定資産税らしいです。福島県ではどうかといいますと、1位はどこだと思いませんか。田舎です。遙かな尾瀬があります。桧枝岐村なんです。桧枝岐村はなんと77万円です。ちょっとこれはわかんないんですけど、多分奥只見発電所の固定資産税なのかなと。桧枝岐村って600人くらいの人口ですよ。それで割ると多分こういう数字が出るのかなと。あとは、尾瀬の観光収入。桧枝岐村の就業人口の90パーセント以上は観光施設で働いてるという話があるので、そういった事も影響するのかなと思います。2位は広野、3位は大熊、4位植葉。原発とか火力発電所関係のところまで占めてますね。本当に白河西郷というのはこういったものに頼らずに優秀で、白河はちなみに上位25パーセン

ト以内に入っています。396位、15万7千円だそうです。全国的に見ても、白河、西郷村地区というのはかなり高水準な安定感を持った自治体であるということがわかったので、ちょっと嬉しくなって皆様に報告させていただきました。コロナ禍の中、こういった話があるとちょっと目の前が明るくなるような感じに思いました。ということで、今日は会長の時間はこれで終わりたいと思います。この後、今日の卓話は西クラブで林名誉会員を除けば最年長。そして、この西クラブのチャーターメンバーの一人であります佐藤清作先生の卓話であります。時間たっぷりございますので、ひとつ私が最後に締めの話はしないで済むようによろしくをお願いしたいと思います。それでは終わります。ありがとうございました。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 白河市赤十字奉仕団 委員長 安澤莊一：白河市赤十字奉仕団委員会第2回委員会の中止について
- 第2530地区会員増強・ロータリー情報委員会委員長 江花祥雄、「レディロータリアンとの交流の集い」実行委員会2021-22ガバナー補佐：「レディロータリアンとの交流の集い」開催について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦、ロータリー財団委員会委員長 田久昌次郎：地区補助金（DDF）の承認について（お知らせ）
- 2020-21年度 ガバナー 石黒秀司、地区幹事 関根信、地区資金委員長 福島佳之、会計監事 新城義雄：2020-21年度地区資金決算報告書・監査報告書（案）の送付について
- 第2800地区2020-21年度 ガバナー 齋藤榮助、地区大会実行委員長 宮嶋俊郎：国際ロータリー第2800地区2021-22年度地区大会記念誌送付について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦：「レディロータリアンと交流の集い」案内の訂正について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦、地区大会実行委員長 里見潤：2021-22年度地区大会同封書類内訳書
- 全国ロータリークラブ野球大会 東北地区連盟コミッショナー代行クラブ 仙台東ロータリークラブ 岩山伸次、事務局福島西ロータリークラブ 久米充彦：全国ロータリークラブ甲子園野球大会東北地区親睦野球大会 令和3年度東北地区代表者会議開催のお知らせ
- 公財ロータリー米山記念奨学会 理事長 齋藤直美、事務局長 柚木裕子：10月米山月間資料のご案内

- ココ・ファーム・ワイナリー：ぶどう通信2021年秋号
- 白河市赤十字奉仕団 委員長 安澤莊一：令和3年度白河市赤十字奉仕団連絡協議会視察研修の実施について
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団NEWS 2021年10月
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦、米山記念奨学会委員会委員長 武島昭良：新・米山バッジの送付について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦、地区大会実行委員長 里見潤、公共イメージ・IT委員会委員長 相良元章：「クラブ会報」「END POLIO」「公共イメージ向上」報告について

■委員会報告

○IT委員会

阿部克弘委員長



皆さん、おばんでございます。IT委員会の阿部克弘です。委員会から皆様にお願ひがございます。毎回、例会でプログラムを担当されます委員会、並びに外部講師の方を含む卓話をされる方は、事前にパワーポイント等を使われる方はIT委員会までご連絡をいただければ大変助かりますので、その辺よろしくお願ひしたいと思ひます。

○吉野敬之パスト会長



皆さん、こんばんは。先日、RIのほうから連絡がありまして昨年度中目さんの時にロータリープラチナ賞、をいただいたんですけども、先週メールで今年もロータリー賞受賞しましたということでご連絡がありました。メールを開くと多分これがダウンロードできるんだと思うんですけども、ちょっと私のメールソフトと相性が悪いのか、何度やっても開きませんので根気よく開いて多分プラチナ賞とは書いてなかったんですけど、まだその詳細がわからないんですけど。なんにせよ、ロータリー賞を無事に受賞することができました。これもひとえに皆様方のおかげだというふうに思ひまして、感謝申し上げますと共にご報告いたします。ありがとうございました。

■本日のプログラム

会員卓話

○佐藤清作会員



こんばんは。今日は、本来ですとホームミーティングの報告会ということでしたが、ご存じのようにコロナ感染症で当然ホームミーティングが延期になりましたので、報告会は行われることのないプログラム変更ということになったわけです。中目プログラム委員長さんよりご連絡ございまして、今日のプログラム卓話をやれとこういうふうなお話でございまして。私もうかつにも返事しちゃいまして、ここに立つはめになったわけです。その時に、中目委員長さんよりちょっと次の例会の際に委員会報告でプログラムが変更になりましたという委員会報告ありました。その中で、私の事を紹介するにあたってちょっと間違った紹介をしてましたので、それを訂正させていただきますと、クラブの最長老だという言い方したんです。私、長老ではありません。年次計画書に載っておりますが、最年長と書いてあります。最年長には間違いありません。この中で一番古い生年月日でございます。そういうことですので、そこはちょっと訂正させていただきます。でも、一番古いですから会長経験も一番古いということで、私が指名されたのかなとこんなふうなことを感じております。何を話したらいいんだかと考えたんですが、何も私自身話す内容がないんで、長い間ロータリーの生活をしてきた中で印象に残ったり、あるいはこんなことを話したほうがいいなということが幾つかありましたので、それをかいつまんで話させていただきます。

まず、プログラムが変更になったのは、ホームミーティングが延期になったということですので、そのホームミーティングということについてお話させていただきますと、このことについてはロータリーの誕生からきてます。ロータリーは皆様もご存じのように、ポール・ハリスが創設者になっております。ポール・ハリスが仲間4人で1905年2月23日に、その仲間のうちの一人ガスターバス・ローアさんの所の事務所で、そのロータリーの創設をしまししょうと、結成することについての構想をそこで話し合いをしたということが1905年2月23日だということになっているそうです。それでこの2月23日、この会合がロータリーの第1回例会だということになって、その日がロータリーの創立、出来た日となったわけです。この時には、ローアさんという方の事務所で暖炉を囲んで話し合いをしたということで、いわゆるファイヤーサイドミーティング

だったと、こんなふうなことを言われております。西クラブができてどのくらい経ってからでしたかちょっと記憶ありませんが、そういう少人数での会合をやりましょうという話が出まして、それいいですねということでファイヤーサイドミーティングということで始めましょうということで始めました。でも、会場はどうするかというと担当になった方の自宅で行うというふうなことで。そうすると、暖炉があるような所は滅多にないということで、家庭でやるということですので家庭集会、ホームミーティングということになった。こんなふうな記憶があります。その担当された方の自宅会場にして、場合によっては家族まで巻き込んでいいですか、家族が食事が終わったあたりに家族の方も混ざっていただいてロータリーの話をしていろいろする。そうすると、家族の方も毎週、その当時は男性だけだったので、うちの旦那は毎週ロータリーだロータリーだって出てくけどもという話がありますが、家族の方も混ざっていただくとロータリーの内容がわかってきまして、出てくことについて協力的になるというような、そういうメリットがあったというようなことが言われております。現在ではいろいろ事情がありまして、自宅ではなかなか無理な感じも出てまいりまして、会場は別に定めて行く。例会も大切ですがこのホームミーティングというのも少人数ですので、皆で話し合いをしてそれぞれみんなが主役という感じでいい会合じゃないかなとこんなふうに思われます。この2月23日はロータリー記念日ですが、現在日本ではこの日は天皇誕生日で祝日ということで休日になりますね。これはあと余計なことですが、私は職業分類が税理士です。税理士という制度ができた日が、2月23日ということで税理士記念日も2月23日ということで昔からこの日がありまして、そのロータリー記念日が忘れないで過ごしてるといような状況にはなっております。

それから次に、コロナウイルス感染症のために支障がいろいろ出てるわけですが、以前にも感染症でそれに関連して国際ロータリーとしてのいろいろ事業があったということをご紹介させていただきます。ご存じの事だとは思いますが、以前ありましたポリオです。小児麻痺です。これも感染力が相当強い感染症で、特に感染しやすいのが5歳未満の子供というふうなことが言われています。日本で一般に小児麻痺と呼ばれています。それから、ポリオウイルスは人から人へ感染し、もっと多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体の麻痺を引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチン予防が可能ですということで、国際ロータリー

では世界からポリオをなくしましょう、ポリオを撲滅しましょうという活動を始めました。これは、ポリオプラス活動と言いまして1985年に発足しました。西クラブは1986年の創立ですので、創立して間もなくこのポリオプラスということが、いろいろ私の記憶が薄れてきちゃっておりますが、ポリオプラスというのがずっと頭の中に残っております。それが西クラブとしてのそれなりの募金活動という形ですが行われたかとこんなふうには思います。これは1985年に5年間ということで始まりましたが、5年目で2億4,700万ドルの募金が集まったということで。これ今のレートで換算すると、270億円位になるのかと。でもその後、撲滅には資金不足だということになりまして、2002年に新たにポリオ撲滅の募金キャンペーンというのがまた始まりました。最終的に6億5千万ドルを上回る募金が集まったということで、現在のレートでいうと715億円になるのかなと計算されました。いろいろこの資料はロータリー百科事典から引用させてお話をさせていただきました。それでこのことについては、これいつ頃いただいたかクリアファイルがボックスのほうに入っておりますので皆さんも当然あると思います。これ今年度になってからいただいたものだと思うんですが、これにポリオのない世界まであと少しということでいろいろとお話されております。ポリオはウイルス感染によって発症する病気です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体麻痺を起こし、時には死に至ることもあります。小児麻痺とも呼ばれています。ロータリーでは1985年、大々的な予防接種を通じてポリオ撲滅を目指すポリオプラスを開始しました。ということで、例えばビルゲイツさんも相当多額の資金提供したというふうなことが言われております。日本では、このポリオは1950年から60年頃に大流行したそうです。でも、日本では1980年が発生の最終報告だということです。国際保健機構WHOでは1990年にアメリカ、2000年に西大西洋地区、2002年にヨーロッパが無発生病国になったと宣言されたそうです。地球からポリオのウイルスを撲滅しましょうという、それだけの事業を世界的にこの国際ロータリーが中心となって進められてきたわけで、本当にもう99.9%いったと、あと少しと言っております。先日、前回の例会の際に、幹事報告で第2530地区公共イメージ・IT委員会委員長から、ポリオ撲滅募金箱の配布についてという報告がありまして、募金箱が回覧で回りましたが、あの募金箱がそのうち回って募金活動が西クラブでも行われるのかなということをちょっと感じました。そのあった時には是非ご協力お願いしたいと、こんなふうに思います。

こういうポリオプラスというものに伴って、現在相当下火になって今日で緊急事態宣言とか蔓延防止の指定とかいうのは、今日解除されたということですが、それについてロータリーではどんなふうにしていくかというのは、このクリアファイルの裏側にもありますので、参考に読ませていただきますと、ポリオ撲滅活動によって世界のほぼすべての国からポリオがなくなっただけでなく、エボラ出血熱などの他の疾病の追跡にしても活用できるインフラが構築されました。ロータリーはコロナウイルスの感染拡大を抑えるために、これまでに築いてきた専門知識と経験を生かし、各国の保険システム、その予防方法について住民の教育や医療従事者への支援を行っています。というような事が載っておりますので、ロータリーとしてもいろいろとそのような対応してるのかなとこんな感じがいたします。

次は出席についてです。これはあんまり私話したくないことではあるんです。といいますのは、ここ何年かの私の出席の状況を見ると、出席について何か話すなんていうのはいかにも説得力がありません。本年度は何とか出席しようと試みまして、7、8、9と3か月過ぎましたか。3か月で欠席したのは1回だけです。あと全部何とか出席しております。去年までは、なんともいろいろ個人的な事情もありましたが欠席ばかりしててというようなことなので、ちょっと話すのには躊躇するところであります。出席については、当クラブには永野文雄さんという35年間出席率100パーセントという方がおります。恐らく本年度も100パーセントだろうと、こんなふうには思っておりますが、永野さんあたりが出席について話すというのはこれも適任でございますが、これ出席は大切だけでもなかなかやらなかったということで、自分にいい聞かせる前にもうちょっとお話をさせていただきます。9月の第1回の例会は公式訪問でした。その時に、志賀ガバナーから感動のある話を受けたわけですが、ガバナーとはどういう方かなと思ひまして、今年度の年次計画書ガバナーのプロフィールとかガバナーのページをちょっと目を通させていただきましたが、メッセージの中にロータリーは例会に始まり例会に終わると言われます。クラブ例会を楽しくし、会員一人一人がクラブ内での役割を担い、私はクラブから必要とされていると思える組織と雰囲気をつくりましょうというふうなことが、このガバナーのメッセージの中に載っておりました。そのとおりだなという感じでおります。この出席については定款では相当厳しいことを言ってます。現在の定款はそれなりに厳しいんですが、私の会長年度だった1994

年から95年あたりの時のこの定款でいいますとこれは同じなんです、例会に順当された時間の少なくとも60パーセントに出席するという、60パーセントというのは今も同じですね。60分のうちの36分。そうすると例えば、夜の例会だったら7時6分まで出席しなくちゃならないとか、昼の例会の時は1時6分まで出席してということを義務付けております。ただ、それを欠席した場合、会員資格の終結というようなことで、理事会が正当かつ正論な事由がないと認める限り次の場合は自動的に終結する。例会に欠席、メーキャップもしていない。それから、メーキャップの出席率が60パーセントに達しない。そのような場合には、十分な事由があると認めない限り自動的に終結しますというような言い方しています。今のはそれ程厳しくは言ってないですね。でも、出席について規約、定款は厳しいことを言っているということを目を通して、これで退会したという人はあまり出ておりませんがそんなことがあります。あとはメーキャップをしてということです。ちょっと今思い出すメーキャップは団体でメーキャップしたのがあります。思い出すのはいつだったかというのはちょっと忘れちゃったんですが、大阪で国際大会があった時に20人とか30人とかで出席したような気がします。そして、大阪で白河クラブさんとか南クラブさんと終わってから懇親会を開いたとか。また、国際大会ではカナダ、バンクーバー、それにも出席したような気がします。団体で何人かで行ったと、こんなふうなことです。日本のロータリーの一番古いところは東京クラブなので、東京クラブへもメーキャップしましょうなんてことで行った記憶があります。その際、来訪ロータリーの紹介で大勢でご出席されました白河西クラブさんですと紹介だったような気がしております。あるいは年次大会あれも全部メーキャップになりますので、なるべくそういうのに出席するように心掛けていただきたいと思います。本年度は、金田昇さんがガバナー補佐で近くIMが実施されると思います。これは西クラブが主幹、比較的入会の新しい方は新入会員の研修会などもありますので、是非出席するように心掛けていただければと思います。

例会の大切な時間をつたない話で過ごさせていただきましたが、もう80何年も使った脳細胞、灰色の脳細胞になってます。その脳細胞による記憶での話も幾つかありますので、間違ったことを言ったかもしれませぬので、何かありましたらこれ違ってたよということをお知らせいただければと思います。今日はこれで終わります。ありがとうございます。